

学習内容報告書

学校名	島根県 益田市立安田小学校
授業者	佐々木しのぶ 溝田里美

1. 単元計画

1-1. 単元名

みつめなおそう 安田の海 つたえつづけよう 海の宝

1-2. 学年

第4学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

総合的な学習の時間 国語科 社会科 図画工作科

1-4. 単元の概要

学校がある地域は山、海がある自然に恵まれた地域である。しかし、子どもたちの生活の中では、その恵みを喜んだり、その美しさやふるさとのよさを感じたりする時間は極めて少ないのが実情である。そこで、ふるさとの自然に目を向け、自分たちの住んでいる地域のよさをあえて実感させていく必要があると考えた。安田の海の生き物やそれを取り巻く環境を学んだり、安田の海に関する地域の実情を考えさせたりするとともに、海を大切にしている方々に出会わせ海への思いや行動、生き方についても考えさせられるような学びを目指している。

1-5. 単元設定の理由・ねらい


- ・安田の海に関する探究的な学習を通して、安田の海の生き物やそれを取り巻く環境、人々との関わりについて理解する。
- ・体験的活動から、課題を見出し、解決に必要な情報を収集し、解決にむけて何ができるかを考え、まとめ、表現する力を育てる。
- ・海に関わる人々や、生き物に進んで関わったり、生き物が暮らしやすい環境に改善したりしようとする態度を育てる。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

知識及び技能	安田の海の現状や環境を保全する人々の工夫や努力が分かる。
	情報を比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付けている。

思考力・判断力・表現力	課題の設定	自分の関心から地域についての課題を設定し、解決方法を考えて追究している。
	情報の収集	目的に応じた対象を決め、自分たちの身近なところから情報を集めている。
	整理・分析	問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したり、数量などで客観的に比較したりして、特徴を見付けている。
	まとめ・表現	相手に応じてわかりやすくまとめ、表現している。
	振り返り	学習したことをふり返り、生活に生かそうとしている。
人間的 学びに向かう力	主体性	課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。
	協働性	課題解決に向けて、身近な人と力を合わせて探究活動に取り組んでいる。
	自己理解	自分のよさや自分にできることに気付いている。
	他者理解	自分と異なる意見や考えがあることに気付き、相手の立場を理解する。
	社会参画	自分と地域とのつながりに気付き、地域の活動に参加しようとしている。

1-7. 単元の展開（全70時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
26	安田の海の生き物を調べよう ・ 漁船体験 ・ 漁港見学 ・ 生き物探し ・ 生き物調べ	安田の海の生き物について興味・関心を持ち、尋ねたり調べたりしたことを分かりやすくまとめて発表することができる。  (外部連携) アンダンテ21 益田丸船長 地元の漁師さん

<p>26</p> <p>安田の海辺はきれいかどうか調べよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ さくら貝、はまぐり調査 ・ 持石海岸での漂着物調査 ・ 津田海岸での漂着物調査 ・ ハマグリアートの作成 	<p>安田の海の漂着物を調査し、それを比較分類することで、課題を見つけることができる。</p>  <p>(外部協力) アンダンテ 2 1 島根県廃棄物対策課</p>
<p>18</p> <p>きれいな安田の海を守っていくために、自分たちができることを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境保全に係る講義 ・ 自分達にできることを考える 	<p>課題の解決に必要な情報を収集し、解決に向けて何ができるかを考え、まとめ、表現することができる。</p>  <p>(外部協力) アンダンテ 2 1 こあらっち</p>

2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ

単元 70 時間中の 3～6 時間目

※例：単元10時間中の2時間目 / 単元15時間中の4,5時間目

2-2. 本時の目標

漁船体験や漁港見学・散策を通して、安田の海について親しみをもつ

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 本時の課題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">いろいろな体験を通して、安田の海について親しみをもとう</div> <p>2 ローテーションしながらそれぞれの活動を行う。</p> <p>① 漁船体験 船の上から校区である安田地区の海を海上から眺める</p> <p>② 漁師さんの話を聞く 安田の海でとれる魚や、漁師さんの仕事の大切さや苦勞などの話を聞く</p> <p>③ 漁港散策 漁港を散策しながら、漁港にある施設や道具を見たり、生き物を見つたりする</p> <p>3 本時の学習内容のふりかえり、これからの活動内容を知る。</p>	<p>・事前に安田の海について知っていることを出し合っておく。</p> <p>・漁船では、途中で船の中で場所を前後することで、いろいろな角度から眺めることができるようにする。(船内移動の際には安全に十分留意する)</p> <p>○漁師さんの話をメモし、積極的に質問することができる。(ワークシート・発言)</p> <p>・見つけた生き物の写真を撮り、後の学習に活かせるようにする。</p> <p>・この学習をきっかけに、これから安田の海についてもっと詳しく学習していることを知らせる。</p>

3. 今回の活動の自己評価

校区が広いこともあり、この学習を通して初めて安田の海に行ったという児童もいる。そういう児童にとっては、この単元は、自分の地域の海に興味関心をもつとてもよい機会になっている。前年度の反省を踏まえ、内容を入れ替え、漁船体験を最初に行ったり、生き物探しや貝の調査を早めに行ったりした。そうすることで、最初に児童の興味関心をしっかりと高めた上でその後の学習を行うことができた。講師の方が気軽に学校に足を運んで、児童の質問に答えたり児童が調べ学習をする際に助言したりしてくださり、とてもありがたかった。いろいろな方の協力のおかげで児童がふるさとの海に興味関心をもち、現状を知ることによって自分ができることを考え、それを周りにも広げていこうとする姿が見られた。

4. 今後の課題

海での活動は、天候に左右される。当日の天候はもちろんだが、当日は晴れていても前日の天候が悪いと海の状態が悪く、活動が延期になることが何度かあった。年度当初に活動時期をよく考えて計画を立てる必要がある。講師の方には、予備日をいくつも設けて対応していただき、感謝している。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点